

追跡

1年前の

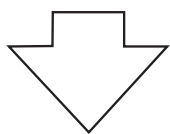
あの質問は
どうなった？



内水氾濫ハザードマップの作成を

Q

現在、全戸配布している「玉村町総合防災マップ」には、内水による氾濫が考慮されていない。近年、各地で内水氾濫による被害が発生している。以前から、内水氾濫のハザードマップの作成を求めているが、進捗状況は。(令和元年12月定例会ほか)



A

区長・消防団に、過去に町内で発生した内水氾濫による浸水・冠水等危険箇所の調査を依頼している。その結果を基に、内水氾濫ハザードマップを作成したい。完成後は、スマホ等の地図アプリでも見られるように整備したい。

「内水氾濫」とは、短時間で局地的な大雨が降ると排水路が能力を超え、溢れ出した雨水が建物や土地、道路などを水浸しにしている。



その後

町は令和2年7月に「玉村町内水氾濫マップ」を作成しました。広報7月号とともに配布した「これからの洪水被害について」の中で、QRコードを添付し、利用方法について説明しています。浸水想定区域、内水氾濫危険区域が表示されるので、安全な避難ルートを選定に役立つと思います。QRコードからご覧になれない方は、役場環境安全課で、お住まい地域の内水氾濫マップを紙で受け取ることもできます。

誰にでも分かりやすい紙面づくりを目指して

群馬県町村議会広報研修会

令和2年11月19日(木)

群馬県市町村会館(前橋市)

コロナ禍で様々なイベントが中止となっている中でしたが、我々広報委員全員で参加した「議会広報研修会」。

テーマは「議会の「見える化」住民との信頼築くー議会広報の基本と編集ー」でした。

議会の広報紙は、社会教育の教材になるような紙面づくりが大切で、議会用語や条例等、難しい文言の羅列をやめて、誰にでも分かりやすい紙面を作成していくことが大切であると学びました。

議会を少しでも身近に、そして多くの皆さんに伝えるための紙面づくりを。乞うご期待ください。

